

ひろばちがさき

No.935

新政ちがさき

2011年8月5日 茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1市役所内0467 (82) 1111

新政ちがさき有志

岸 正 明 87-8766

こいそ妙子 52-6731

和 田 清 84-9969

よしかわ和夫 86-0032

西田 淳一 83-7293

香川小学校に通学特認地域が設定される！

現在、茅ヶ崎市内の小中学校では、学校の敷地や校舎が、児童や生徒数と合っていない学校がいくつかあります。つまり、マンモス校と呼ばれる、適正な人数を超過している学校があるという事です。

最近では、緑が浜小学校が適正人数を大幅に超え、かつ隣接する松浪小学校も児童数が超過していたため、汐見台小学校の建設が行われました。しかし、人口増加が進み、今までの学区割では、児童・生徒数が増えず、教室が足りなくなってしまうなどの問題が起こっています。一つは、梅田小学校であり、昨年学区割の問題解決に向けた取り組みが行われましたが、なかなか地元の人たちの同意が得られず、やはり円蔵小学校との間で、特認区の設置が決まりました。

もう一つは、香川小学校です。みずき地区の開発が進み、多くの住民が移り住んできたために、香川小学校の生徒数が増加しました。今回は、その解決のために、通学特認区を設けて、生徒が分散して、適正化を図ろうと

いうものです。学区割はそれぞれ以下の通りです。

小学校区	中学校区	住所	選択可能な小学校	選択可能な中学校
香川小学校	北陽中学校	香川	香川小学校 小出小学校	北陽中学校
		香川2丁目		
		香川5～7丁目	鶴が台小学校	北陽中学校 鶴が台中学校
		みずき1～4丁目		
	鶴が台中学校	香川1丁目	香川小学校 鶴が台小学校	鶴が台中学校
		香川3～4丁目		
		松風台		
		甘沼	赤羽根	松林中学校 鶴が台中学校
		西久保		
		室田小学校		

これから、新入生を含めた地元への説明会が9月に開催され、11月には、広報紙が発行されます。現在、出前説明会も実施されていますので、関心のある方々は教育委員会へご一報ください。来々年4月からの実施が予定されています。

【意見】茅ヶ崎市は、人口の増加にインフラ整備が追い付いていない部門がいくつかあります。その典型的な例が、学校整備です。人口増加地区は、学校建設用地の確保が難しく、住宅やマンションが建設され、児童・生徒数が増加してから、調整しています。

その結果、地域一体で取り組みなければならぬ課題が多いにも関わらず、自治会組織と学区が違ってしまったら、兄弟姉妹が違う学校へ通うなどの問題を解決していかねればなりません。機械的に人数だけで、学区を変えることは、住民の反発を招きます。また、通学の利便性からの反発も出ています。

学校規模の適正という問題もあり、マンモス校では学校経営が難しく子供たちにもマイナスの影響が出ているという意見もあります。対症的に、通学特認区を設けるという方法で、問題は解決するのでしょうか。一方で、学校設備の不足から、特別支援学級の設置が難しい学校もあります。特に、マンモス校を呼ばれる過密校では、当然の事ながら、教室が足りません。現状でも特別教室などの不足が

ら、授業に影響が出ているのに、更に特別支援学級の設置が難しい訳です。

同じ市内に住みながら、教育環境に差が出ているのは如何なものでしょうか。また、障がいを持つ子供たちは、地元の学校に通えない実態もあります。それこそ、「子どもの人権」という立場から考えると、問題は看過出来ません。早急に抜本的な解決策に向けて、英断を振るう時が来ているのではないかと、思われます。

●下水道事業の企業会計導入へ向けて資産調査が報告される！

下水道事業へ、地方公共団体の資産調査結果が報告されました。現在、茅ヶ崎市の汚水管等の長さは、547km（茅ヶ崎↓岡山間の距離に匹敵）で、昭和38年より敷設が始まっています。今までは、増設の一途を辿ってきましたが、老朽化も進み、維持管理のための事業が中心となります。そのためにも、費用対効果が明確になるような企業会計の導入を図ることを目指しています。来々年（平成23年）4月の施行予定です。